

虹の雫（品種名ポンタ）でアブサップ液剤の適用拡大！

無処理区

アブサップ処理区



試験区	果皮色 ² (カラーチャート値)	果房重 (g)	糖度 (°Brix)	酸含量 (g/100ml)
無処理	1.4	514	21.2	0.77
アブサップ処理	3.0	516	20.9	0.71

²果皮色の測定にはゴルビー用カラーチャートを使用（緑（0）～濃赤（6）の7段階）

調査年：2021年
作型：雨よけ
アブサップ液剤散布日：7月21日（満開後63日）
アブサップ液剤の処理濃度：100倍希釈
写真撮影日：8月20日（満開後93日）
調査地：大阪府立環境農林水産総合研究所（羽曳野市尺度442 標高 70 m）

糖度・酸含量は
変わりません

適用と使用上の注意事項

アブサップ液剤（有効成分：アブシシン酸 10.0%）2025年3月現在の登録内容

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
ぶどう（巨峰系4倍体品種）	着色促進	100～200倍	1果房当り 2～10mL	着色始期～着色開始 2週間後	1回 アブシシン酸：1回	果房散布
ぶどう（ポンタ）						

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- 有効成分の移行性はないので、果房全体に薬液がフワツとかかるように噴霧器などを使用して散布してください（散布後の薬液のかかり具合は、アブサップ液剤の技術資料・チラシを参考にしてください）。
- 葉に薬液が大量にかからないように注意し、果房を目掛けて散布してください。



技術資料・チラシ
(PDFファイルが開きます)



最新の登録内容の確認

散布時期（着色始期）の目安



散布時期である着色始期は、果粒軟化期（満開後45～50日）が終わり、果房内の数粒が着色し始めた頃（満開後60～65日）です。

左の写真の果粒のように、スポット状に着色し始めます。虹の雫（品種名ポンタ）の着色始期は、巨峰やピオーネに比べると一見してわかりにくいので、満開後日数（60～65日）を目安にしてください。